

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-52901

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月26日

(51) Int. Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 9 F 27/00

G 0 9 F 27/00

C

3/00

3/00

E

// G 0 9 G 5/00

5 1 0

G 0 9 G 5/00

5 1 0 B

審査請求 未請求 請求項の数15 O.L. (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願平9-204256

(22) 出願日 平成9年(1997) 7月30日

(71) 出願人 000136136

株式会社ビーエフユー

石川県河北郡宇ノ気町宇野気ヌ98番地の
2

(72) 発明者 柳川 雅裕

石川県河北郡宇ノ気町宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ビーエフユー内

(72) 発明者 田中 良知

石川県河北郡宇ノ気町宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ビーエフユーソフトウェアラ
ボラトリ内

(74) 代理人 弁理士 岡田 守弘

最終頁に続く

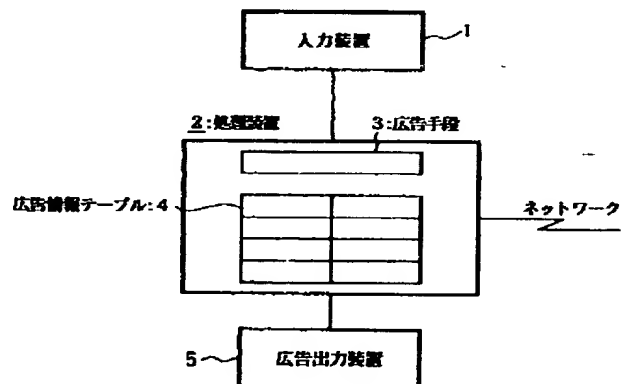
(54) 【発明の名称】 広告表示装置および記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、広告を表示する広告表示装置および記録媒体に関し、店頭などの周囲の状況に対応して最適な広告情報を表示および音声で発声し、顧客の興味のある商品広告を表示/発声することを目的とする。

【解決手段】 I Dに対応づけて広告情報を登録する広告情報テーブルと、商品のI Dの入力に対応して、広告情報テーブルを参照して該当広告情報を読み出して表示する手段とを備えるように構成する。

本発明のシステム構成図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 広告を表示する広告表示装置において、
IDに対応づけて広告情報を登録する広告情報テーブルと、
商品のIDの入力に対応して、上記広告情報テーブルを参照して該当広告情報を読み出して表示する手段とを備えたことを特徴とする広告表示装置。

【請求項2】 広告を表示する広告表示装置において、
IDに対応づけて広告情報、広告音声情報、および広告印刷情報を登録する広告情報テーブルと、
商品のIDの入力に対応して、上記広告情報テーブルを参照して該当広告情報を読み出して表示、該当音声情報を読み出して発声、および該当広告印刷情報を読み出して印刷する手段とを備えたことを特徴とする広告表示装置。

【請求項3】 商品に添付されているバーコードから上記商品のIDを読み取って入力することを特徴とする請求項1あるいは請求項2記載の広告表示装置。

【請求項4】 広告を表示する広告表示装置において、
時間帯に対応づけて表示装置毎の広告情報を登録する広告情報テーブルと、
現時刻および表示装置固有の番号をもとに上記広告情報テーブルを参照して該当広告情報を読み出して該当表示装置に表示する手段とを備えたことを特徴とする広告表示装置。

【請求項5】 割り込みによって指定された広告情報テーブル中の広告情報を読み出して該当表示装置に表示させる手段を備えたことを特徴とする請求項4記載の広告表示装置。

【請求項6】 広告を表示する広告表示装置において、
画面上に表示した商品広告毎の位置情報に対応づけてハイパーリンク情報を登録する広告情報テーブルと、
画面上で上記位置情報が選択されたことに対応して、表示中の該当商品の上記広告情報テーブルを参照して該当ハイパーリンク情報のリンク先の広告情報を読み出して表示する手段とを備えたことを特徴とする広告表示装置。

【請求項7】 広告を表示する広告表示装置において、
顧客数情報に対応づけて広告情報を登録する広告情報テーブルと、
検出された顧客数情報をもとに上記広告情報テーブルを参照して該当広告情報を読み出して表示する手段とを備えたことを特徴とする広告表示装置。

【請求項8】 広告を表示する広告表示装置において、
キー値に対応づけて広告情報をそれぞれ登録する広告情報テーブルと、
気温センサ、湿度センサ、騒音センサなどのいずれかの環境センサによって検出された値をもとにキー値を決め、上記広告情報テーブルを参照して決定したキー値の広告情報を読み出して表示する手段とを備えたことを特

徴とする広告表示装置。

【請求項9】 広告を表示する広告表示装置において、
キー値に対応づけて広告情報および頻度情報をそれぞれ登録する広告情報テーブルと、
気温センサ、湿度センサ、騒音センサなどのいずれかの環境センサによって検出された値をもとにキー値を決め、上記広告情報テーブルを参照して決定したキー値の広告情報のうちの頻度の最も高い広告情報を読み出して表示すると共に当該頻度情報をカウントアップする手段とを備えたことを特徴とする広告表示装置。

【請求項10】 上記広告情報テーブルに広告情報と一緒に音声情報を登録し広告情報が読み出されたときに一緒に該当音声情報を読み出して発声することを特徴とする請求項1ないし請求項9記載のいずれかの広告表示装置。

【請求項11】 コンピュータを動作させて、
IDに対応づけて広告情報を広告情報テーブルに登録する手段と、

商品のIDの入力に対応して、上記広告情報テーブルを参照して該当広告情報を読み出して表示する手段として機能するプログラムを格納した記録媒体。

【請求項12】 コンピュータを動作させて時間帯に対応づけて表示装置毎の広告情報を広告情報テーブルに登録する手段と、
現時刻および表示装置固有の番号をもとに上記広告情報テーブルを参照して該当広告情報を読み出して該当表示装置に表示する手段として機能するプログラムを格納した記録媒体。

【請求項13】 コンピュータを動作させて画面上に表示した商品広告毎の位置情報に対応づけてハイパーリンク情報を広告情報テーブルに登録する手段と、
画面上で上記位置情報が選択されたことに対応して、表示中の該当商品の上記広告情報テーブルを参照して該当ハイパーリンク情報のリンク先の広告情報を表示する手段として機能するプログラムを格納した記録媒体。

【請求項14】 コンピュータを動作させて顧客数情報に対応づけて広告情報を広告情報テーブルに登録する手段と、
検出された顧客数情報をもとに上記広告情報テーブルを参照して該当広告情報を読み出して表示する手段として機能するプログラムを格納した記録媒体。

【請求項15】 コンピュータを動作させてキー値に対応づけて広告情報を広告情報テーブルにそれぞれ登録する手段と、
気温センサ、湿度センサ、騒音センサなどのいずれかの環境センサによって検出された値をもとにキー値を決め、上記広告情報テーブルを参照して決定したキー値の広告情報を読み出して表示する手段として機能するプログラムを格納した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、広告を表示する広告表示装置および記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、店頭における広告表示装置は、TVやコンピュータ画面上に商品広告を表示したり音声で案内したりしていた。この際、表示する商品広告は、店の一方的ないわば垂れ流的に順次表示していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述したように従来の店頭における広告表示は、店が一方的に商品広告を画面上に表示したり音声で案内したりしていたため、顧客がたまたま居あわせ、かつ興味のある商品広告の場合にしか有効に広告効果を発揮し得ないという問題があった。

【0004】また、同じ商品広告を繰り返し表示していたため、周囲の状況に応じた効率的な広告を行うことができないという問題もあった。本発明は、これらの問題を解決するため、店頭などの周囲の状況に対応して最適な広告情報を表示および音声で発声し、顧客の興味のある商品広告を表示／発声することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】図1を参照して課題を解決するための手段を説明する。図1において、処理装置2は、図示外の記録媒体からプログラムを読み込んで当該プログラムに従い各種処理を行うものであって、ここでは、広告手段3および広告情報テーブル4などから構成されるものである。

【0006】広告手段3は、広告情報テーブル4を参照して該当する商品広告を表示および発声するものである。広告情報テーブル4は、広告情報、広告音声情報、および広告印刷情報などを登録するものである。

【0007】次に、動作を説明する。広告手段3が商品のIDの入力に対応して、広告情報テーブル4を参照して該当広告情報を読み出して表示するようにしている。

【0008】また、広告手段3が商品IDの入力に対応して、広告情報テーブル4を参照して該当広告情報を読み出して表示、該当音声情報を取り出して発声、および該当広告印刷情報を取り出して印刷するようにしている。

【0009】また、商品に添付されているバーコードから商品のIDを読み取って入力するようにしている。また、広告手段3が現時刻および表示装置固有の番号をもとに広告情報テーブル4を参照して該当広告情報を読み出して該当表示装置に表示するようにしている。

【0010】また、広告手段3が画面上で位置情報が選択されたことに対応して、表示中の該当商品の広告情報テーブル4を参照して該当ハイパーリンク情報のリンク先の広告情報を読み出して表示するようにしている。

【0011】また、広告手段3が検出された顧客数情報をもとに広告情報テーブル4を参照して該当広告情報を読み出して表示するようにしている。また、広告手段3

が気温センサ、湿度センサ、騒音センサなどのいずれかの環境センサによって検出された値をもとに基準値を決め、広告情報テーブル4を参照して決定した基準値の広告情報のうちの頻度の最も高い広告情報を読み出して表示すると共に当該頻度情報をカウントアップするようにしている。

【0012】従って、店頭などの周囲の状況に対応して広告情報テーブル4を参照し最適な広告情報を取り出して表示および音声で発声したりなどすることにより、顧客の興味のある商品広告を表示／発声することが可能となる。

【0013】

【発明の実施の形態】次に、図1から図8を用いて本発明の実施の形態および動作を順次詳細に説明する。

【0014】図1は、本発明のシステム構成図を示す。

図1において、入力装置1は、環境を検出して入力するセンサ（例えば気温センサ、湿度センサ、騒音センサ、顧客検知センサなど）、画面上に表示した情報を選択するマウス、データや各種指示を入力するキーボードなどの各種入力装置である。

【0015】処理装置2は、図示外の記録媒体からプログラムを読み出して格納し動作させて各種処理を行うものであって、ここでは、広告手段3および広告情報テーブル4などから構成されるものである。各種処理としては、入力装置1からの情報を取り込んだり、広告出力装置5に表示データを出力、印刷データを出力、音声データを出力などを行うようにしている。

【0016】広告手段3は、広告情報テーブル4を参照して該当する商品広告を表示したり、音声を発声させたり、印刷させたりなどするものである。広告情報テーブル4は、広告情報を登録するものである（後述する）。

【0017】広告出力装置5は、広告を表示したり、音声を発声したり、印刷したりするものである。ネットワーク6は、処理装置2と外部の端末との間でデータの授受を行うネットワークである。

【0018】次に、図2ないし図7を参照して図1の構成の動作を順次詳細に説明する。図2は、本発明の動作説明図（その1）を示す。この図2は、商品のバーコードをもとに広告情報テーブル4を参照して該当商品広告を表示する例である。

【0019】図2の（a）は、本発明の動作説明フローチャートを示す。図2の（a）において、S1は、利用者が商品のバーコードを読み取る。これは、例えば利用者（顧客）が店にきて商品に添付されているバーコードをバーコード読み取り装置で読み取らせる。

【0020】S2は、バーコードIDと関連する広告情報を広告情報テーブル4から参照する。これは、S1で読み取った商品IDをもとに、図2の（b）の広告情報テーブル4を参照して該当する広告情報（例えば商品Aの広告情報）を読み出す。

【0021】S3は、広告情報を表示装置へ表示する。これは、S2で読み出した広告情報を表示装置上に表示、例えば後述する図2の(c)に示すように画面上に商品の広告を表示する。これにより、顧客は、商品の商品広告によって当該商品の特徴や特徴などを知ることが可能となる。

【0022】以上によって、利用者(顧客)が商品に添付されているバーコードを読み取らせると、自動的に当該商品の商品広告が表示され、これを見た顧客の購買意欲を増強して広告効果を高めることが可能となる。

【0023】図2の(b)は、広告情報テーブル例を示す。この広告情報テーブル4は、図示のように商品のバーコードIDに対応づけて商品の広告情報を図示の下記のように登録したものである。

【0024】

バーコードID	広告情報
1	商品Aの広告情報
2	商品Bの広告情報
3	商品Cの広告情報
4	商品Dの広告情報

図2の(c)は、広告情報イメージ例を示す。これは、図2の(b)の広告情報テーブル4から読み出して表示した広告情報イメージ例であって、ここでは、図示のように、「商品写真」、「キャンペーン実施中」の見出し、特価「185円」という特別の価額を表示し、顧客の購買意欲を促進した商品情報イメージである。

【0025】図3は、本発明の動作説明図(その2)を示す。この図3は、商品のバーコードをもとに広告情報テーブル4を参照して該当商品広告を表示および印刷する例である。

【0026】図3の(a)は、本発明の動作説明フローチャートを示す。図3の(a)において、S11は、利*

バーコードID	広告情報
1	商品Aの広告情報
2	商品Bの広告情報
3	商品Cの広告情報
4	商品Dの広告情報

図3の(c)は、広告情報イメージ例を示す。これは、図3の(b)の広告情報テーブル4から読み出して表示した広告情報イメージ例であって、ここでは、図示のように、「商品写真」、スパゲッティミートソースの作り方の「レシピ」を表示すると共に図示外の音声で説明を行う。

【0033】図3の(d)は、広告印刷情報イメージ例を示す。これは、図3の(b)の広告情報テーブル4から読み出して広告印刷情報を印刷したイメージであって、ここでは、図示のように、イタリアンレシピとして、スパゲッティミートソースの作り方のレシピを印刷したものである。

【0034】図4は、本発明の動作説明図(その3)を※50

* 用者が商品のバーコードを読み取る。これは、例えば利用者(顧客)が店にきて商品に添付されているバーコードをバーコード読み取り装置で読み取らせる。

【0027】S12は、バーコードIDと関連する広告情報および広告音声情報を広告情報テーブルから参照する。これは、S11で読み取った商品IDをもとに、図3の(b)の広告情報テーブル4を参照して該当する商品の広告情報および広告音声情報を読み出す。

【0028】S13は、バーコードIDと関連する広告印刷情報を広告情報テーブルから参照する。これは、S11で読み取った商品IDをもとに、図3の(b)の広告情報テーブル4を参照して該当する商品の広告印刷情報を読み出す。

【0029】S14は、広告情報を表示装置へ表示および広告音声情報を発声する。これは、S12で広告情報テーブル4から読み出した広告情報を表示および広告音声情報を発声する。

【0030】S15は、広告印刷情報を印刷装置へ印刷する。これは、S13で広告情報テーブル4から読み出した広告印刷情報を印刷する。以上によって、利用者(顧客)が商品に添付されているバーコードを読み取らせると、自動的に当該商品の商品広告が表示されると共に音声で広告が発声され、しかも、用紙に印刷されて排出され、この広告を印刷した用紙を顧客が持ち帰ることができ、顧客の購買意欲を増強して広告効果を高めることが可能となる。

【0031】図3の(b)は、広告情報テーブル例を示す。この広告情報テーブル4は、図示のように商品のバーコードIDに対応づけて商品の広告情報、広告印刷情報、広告音声情報を図示の下記のように登録したものである。

バーコードID	広告情報	広告印刷情報	広告音声情報
1	商品Aの広告情報	印刷情報A	音声情報A
2	商品Bの広告情報	印刷情報B	音声情報B
3	商品Cの広告情報	印刷情報C	音声情報C
4	商品Dの広告情報	印刷情報D	音声情報D

※示す。この図4は、スケジュールに従い商品広告を表示する例である。図4の(a)は、本発明の動作説明フローチャートを示す。

【0035】図4の(a)において、S21は、現時刻tを求める。S22は、表示装置固有の番号Nを参照する。S23は、時刻tと装置番号Nから、広告情報テーブル4を参照して表示する広告を求める。これらS21ないしS23は、現時刻tと、表示しようとする装置の装置番号Nを求め、これら現時刻tと装置番号Nをもとに、後述する図4の(b)の広告情報テーブル4を参照し、現時刻tが該当する時刻の範囲内の当該装置番号Nの広告情報および図示しないが同様に広告音声情報を読み出す。

【0036】S24は、広告情報を表示装置へ表示および音声情報を発声する。これは、S23で読み出した現時刻もが属する範囲でかつ装置番号Nにスケジュールされていた広告情報を表示および音声情報を発声する。

【0037】S25は、ローカルあるいはネットワークからの割り込みありかを判別する。YESの場合には、S26で割り込みによって指定された広告情報を表示および音声情報を発声し、終了する。一方、NOの場合には、終了する。

【0038】以上によって、現時刻もおよび表示装置番号Nをもとに広告情報テーブル4を参照して該当する広告情報および音声情報を読み出し、広告情報を表示および

時刻の範囲 広告情報(N=1)

10:00~14:00 商品A

14:00~16:00 商品B

16:00~18:00 商品C

18:00~20:00 商品D

図4の(c)は、広告情報イメージ例(10:00~12:00)を示す。これは、図4の(b)の広告情報テーブル4から読み出して表示した広告情報イメージ例(10:00~12:00)であって、ここでは、図示のように、商品の案内文および価額を表示すると共に図示外の音声で説明を行う。

【0041】図4の(d)は、広告情報イメージ例(18:00~20:00)を示す。これは、図4の(b)の広告情報テーブル4から読み出して表示した広告情報イメージ例(18:00~20:00)であって、ここでは、図示のように、商品の案内文および価額を表示すると共に図示外の音声で説明を行う。

【0042】図5は、本発明の動作説明図(その4)を示す。この図5は、ハイパーリンク(タッチ操作)による広告表示例である。図5の(a)は、本発明の動作説明フローチャートを示す。

【0043】図5の(a)において、S31は、広告情報を表示する。S32は、利用者がポインティング装置により、画面上の位置を指示する。これは、例えば後述する図5の(c)の広告情報イメージを画面上に表示した状態で、「応募方法はこちら」の部分でポインティング装置で指示あるいは画面上で指で指示する。

【0044】S33は、指示位置にリンク情報があるかを判別する。YESの場合には、S34に進む。NOの場合には、S31に戻り繰り返す。S34は、リンク情報とリンク先の広告情報をもとに表示する広告情報を決定する。これは、S32で例えば図5の(c)の「応募方法はこちら」という部分を指で押下して指定した場合に、当該部分がハイパーリンク情報でリンク付けされていた場合、図5の(b)の広告情報テーブル4を参照して当該部分のハイパーリンク情報のリンク先の広告情報を取り出す。

【0045】S35は、表示装置に広告情報を表示す ※50

*び音声を発声すると共に、ローカルあるいはネットワークから割り込み指示があったときに指定された広告情報を表示および音声を発声し、顧客の状況に合わせてスケジュールで広告を行うことが可能となり、しかも、特別なイベントや事情に応じて最適な広告を指定して表示/発声させることが可能となる。

【0039】図4の(b)は、広告情報テーブル例を示す。この広告情報テーブル4は、図示のように時刻の範囲、広告情報(装置番号N=1)、広告情報(装置番号N=2)などを下記のように登録したものである。

【0040】

広告情報(N=2) 広告情報(N=3)

商品E

商品I

商品F

商品J

商品G

商品K

商品H

商品L

※る。これは、S34で取り出した(決定した)広告情報を表示装置に表示する。以上によって、広告情報を画面上に表示し、顧客からリンク付けされた部分の選択に対応して広告情報テーブル4を参照してリンク先の広告情報を読み出して画面上に表示および音声を発声し、顧客の選択状態に合わせて広告を行うことが可能となる。

【0046】図5の(b)は、広告情報テーブル例を示す。この広告情報テーブル4は、図示のように画面上にリンク付けされたハイパーリンク情報に対応づけて下記のように広告情報を登録したものである。

【0047】

ハイパーリンク情報

広告情報

ディレクトリ+ファイル名

広告情報A

URL(アドレス)1

広告情報B

URL(アドレス)2

広告情報C

URL(アドレス)3

広告情報D

図5の(c)は、広告情報イメージ例を示す。これは、図5の(a)のS31で画面上に広告情報を表示した例であって、「商品写真」とその説明文、価額、およびハイパーリンク情報を設定した「応募方法はこちら」という部分からなるものである。このハイパーリンク情報を設定した「応募方法はこちら」を顧客が指で選択すると、既述したように図5の(b)の広告情報テーブル4を参照して図5の(d)の広告情報をここでは表示する。

【0048】図5の(d)は、広告情報イメージ例を示す。これは、図5の(c)で「応募方法はこちら」の部分を顧客が指で選択したときに表示される広告情報イメージである。尚、この図5の(d)の広告情報イメージ上でも「もどる」という部分を顧客が選択すると、ハイパーリンク情報に従い、元の図5の(c)の広告情報イメージに戻ることが可能である。

【0049】図6は、本発明の動作説明図(その5)を

示す。この図6は、対人センサによる広告表示例である。図6の(a)は、本発明の動作説明フローチャートを示す。

【0050】図6の(a)において、S41は、対人センサをスキャンする。これは、店で顧客が近づいたことを検出するセンサをスキャンしていずれの方向あるいは何人位の人が近づいたかを検出することを行う。

【0051】S42は、入力ありか判別する。YESの場合には、S43に進む。NOの場合には、S41に戻り繰り返す。S43は、対人センサの入力をもとに広告情報テーブルから広告情報を参照する。これは、S41で対人センサで検出した顧客の人数をもとに後述する図6の(b)の広告情報テーブル4を参照して該当する範囲の広告情報および音声情報を読み出す。

【0052】S44は、表示装置に広告情報を表示および音声を発声する。以上によって、対人センサをスキャンして顧客の数を検出してその数に対応した広告情報および広告音声情報を広告情報テーブル4を参照して読み出して画面上に表示および音声を発声し、顧客の人数に合わせて最適な広告を自動的に行うことが可能となる。

【0053】図6の(b)は、広告情報テーブル例を示す。この広告情報テーブル4は、図示のように顧客の対人数の範囲に対応づけて広告情報および広告音声情報を登録したものである。

【0054】

対人数	広告情報	広告音声情報
範囲1	広告情報A	音声情報A
範囲2	広告情報B	音声情報B
範囲3	広告情報C	音声情報C

図6の(c)は、広告情報イメージ例を示す。これは、図6の(a)のS44で画面上に広告情報を表示および音声を発声した例であって、

いらっしゃいませ!

本日のおすすめは

××××× 特価 185円

という広告情報を表示、および音声で「いらっしゃいませ」と発声した様子を示す。

【0055】図7は、本発明の動作説明図(その6)を示す。この図7は、気温センサによる広告表示例である。図7の(a)は、本発明の動作説明フローチャートを示す。

【0056】図7の(a)において、S51は、センサにより気温Tを読み取る。これは、店で店頭などの配置した気温センサにより気温Tを読み取る。S52は、気温Tから広告を決定するためのキーXを関数 $f(T)$ により計算する。例えば右側に記載したように、

if $T > 25$ then $X = 0$
else $X = 1$

により気温TのときのキーXを計算する。

【0057】S53は、キーXに対応する広告情報を広

告情報テーブル4を参照する(頻度の高いものを参照する)。これは、S52で気温TからキーXを求め、この求めたキーXをもとに、後述する図7の(b)の広告情報テーブル4を参照し、該当するキーXの広告情報のうち、頻度情報の最も高いエントリの広告情報を取り出す。例えば気温 $T = 30^{\circ}\text{C}$ の場合には、S52で $X = 0$ となり、図7の(b)の広告情報テーブル4のキー $X = 0$ のエントリ中の頻度情報の最も高い「3」の広告情報Cを読み出す。

【0058】S54は、頻度情報をカウントアップする。これは、S53で読み出した広告情報の頻度情報をカウントアップし、人気のある広告情報の頻度情報がより多く表示するようにしておく。

【0059】S55は、広告情報を表示装置へ表示および音声で発声する。以上によって、気温センサによって気温Tを測定して当該気温Tに対応する広告情報および広告音声情報を広告情報テーブル4を参照して読み出して画面上に表示および音声を発声し、気温Tに合致した最適な広告を自動的に行うことが可能となる。

【0060】図7の(b)は、広告情報テーブル例を示す。この広告情報テーブル4は、図示の下記のようにキーXに対応づけて広告情報および頻度情報を登録したものである。

【0061】

キーX	広告情報	頻度情報
0	広告情報A	1
0	広告情報B	2
0	広告情報C	3
1	広告情報C	1
1	広告情報D	2
1	広告情報E	3

図7の(c)は、広告情報イメージ例($X = 0$)を示す。これは、図7の(b)の広告情報テーブル4のキー $X = 0$ (気温Tが 25°C 以上)の広告情報イメージ例である。図示しないが音声でも広告を発声する。

【0062】図7の(d)は、広告情報イメージ例($X = 1$)を示す。これは、図7の(b)の広告情報テーブル4のキー $X = 1$ (気温Tが 25°C 以下)の広告情報イメージ例である。図示しないが音声でも広告を発声する。

【0063】尚、図7では気温センサによって検出した気温Tを関数によりキーXに変換し、当該キーXをもとに広告情報テーブル4を参照して気温Tに最適な広告情報および広告音声情報を読み出して表示/発声したが、これに限られず、当該気温センサ以外の湿度センサ、騒音センサなどの各種環境の状態を検出するセンサによって検出された値をもとにキー値を決め、最適な広告情報および広告音声情報を読み出した表示/発声するにしてもよい。

【0064】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、店頭などの周囲の状況に対応して広告情報テーブル4を参照し最適な広告情報を取り出して表示および音声で発声して広告する構成を採用しているため、顧客の興味のある商品広告を表示および発声し、広告効果を高めることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のシステム構成図である。

【図2】本発明の動作説明図（その1）である。

【図3】本発明の動作説明図（その2）である。

【図4】本発明の動作説明図（その3）である。

【図5】本発明の動作説明図（その4）である。

【図6】本発明の動作説明図（その5）である。

【図7】本発明の動作説明図（その6）である。

【符号の説明】

1：入力装置

2：処理装置

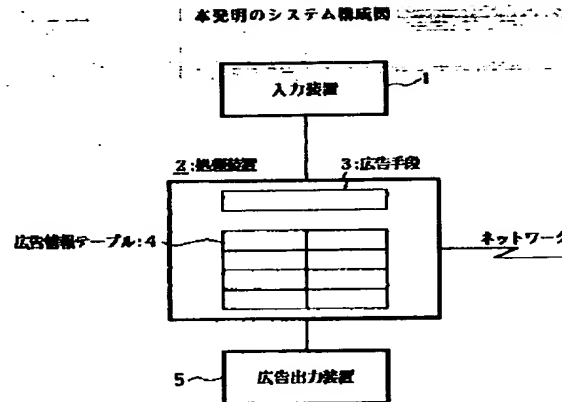
3：広告手段

4：広告情報テーブル

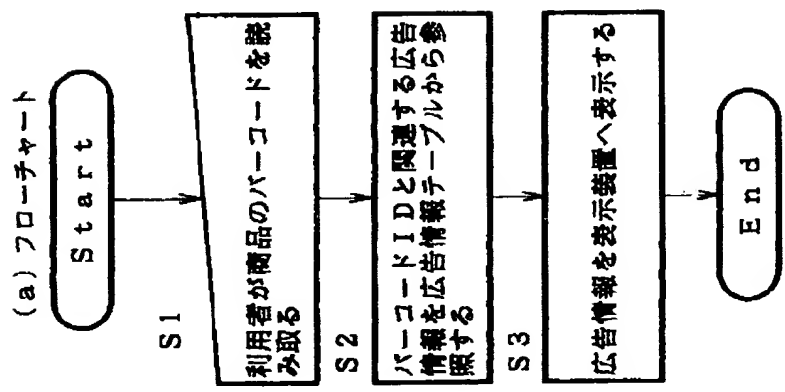
5：広告出力装置

10 6：ネットワーク

【図1】



本発明の動作説明図（その1）



(b) 広告情報テーブル例

4

バーコードID	広告情報
1	商品A
2	商品B
3	商品C
4	商品D

【図2】

(c) 広告情報イメージ例

XXXカレー

プレゼントが当たるキャンペーン実施中！

箱のラベルを切り取って
ご応募ください

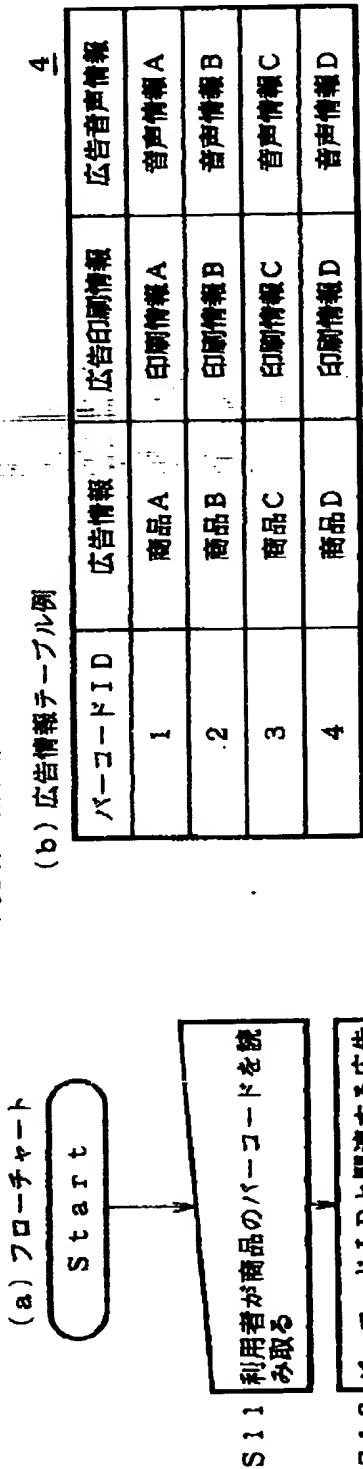
商品写真

特価
185円

(8)

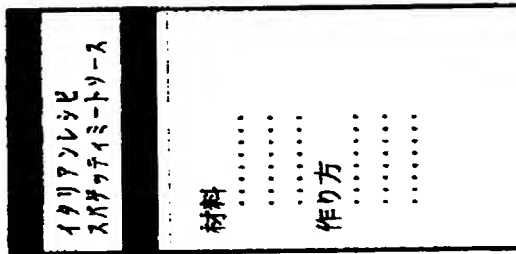
特開平11-52901

本発明の動作説明図(その2)

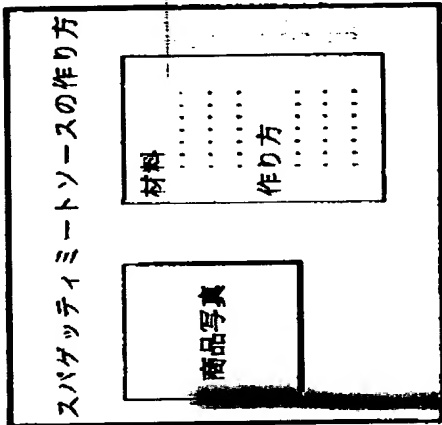


【図3】

(d) 広告印刷情報イメージ例

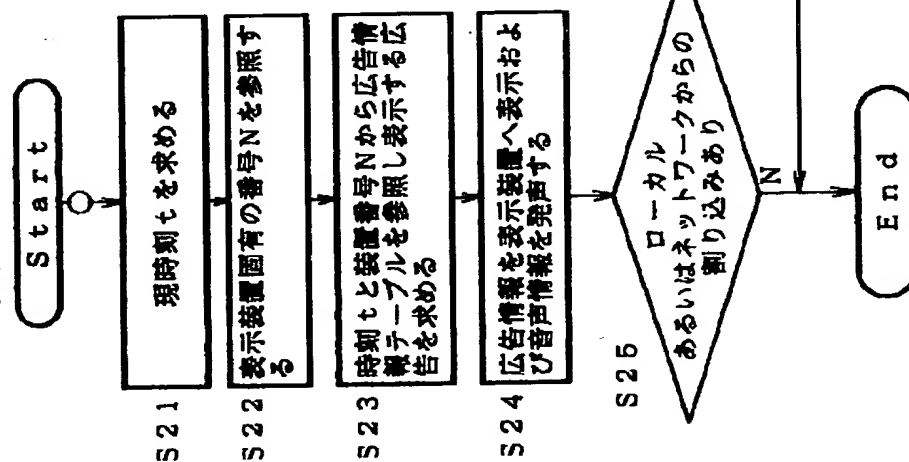


(c) 広告情報イメージ例



本発明の動作説明図（その3）

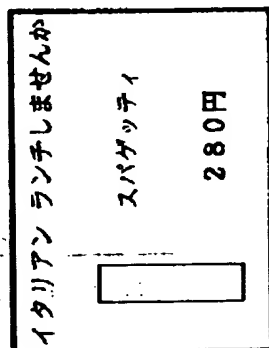
(a) フローチャート



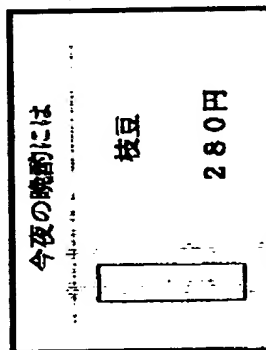
(b) 広告情報テーブル例

時刻tの範囲	広告情報(N=1)	広告情報(N=2)	広告情報(N=3)	...
10:00~14:00	商品A	商品E	商品I	...
14:00~16:00	商品B	商品F	商品J	...
16:00~18:00	商品C	商品G	商品K	...
18:00~20:00	商品D	商品H	商品L	...

(c) 広告情報イメージ例 (10:00~12:00)

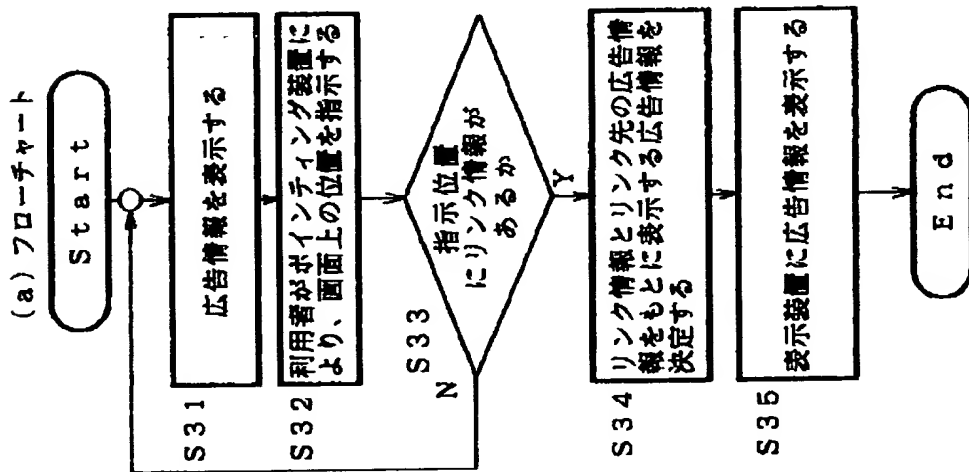


(d) 広告情報イメージ例 (18:00~20:00)



【図4】

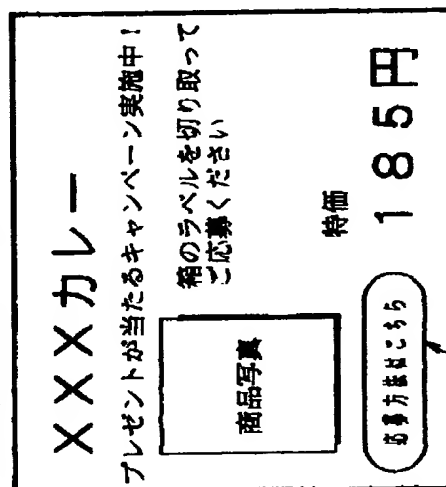
本発明の動作説明図（その４）



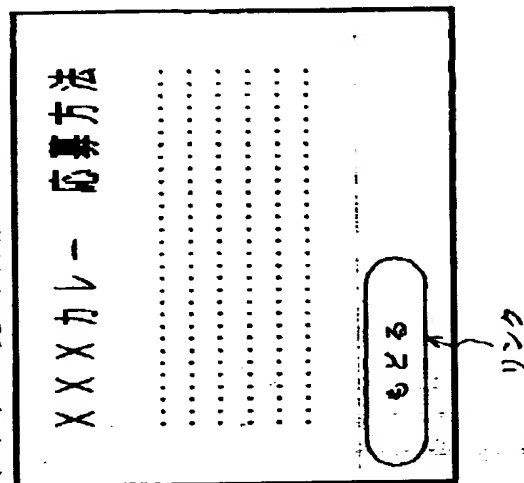
(b) 広告情報テーブル例

ハイパーリンク情報	広告情報
ディレクトリ+ファイル名	広告情報A
URL (アドレス)	広告情報B
" 2	広告情報C
" 3	広告情報D

(c) 広告情報イメージ例



(d) リンク先の広告情報イメージ例

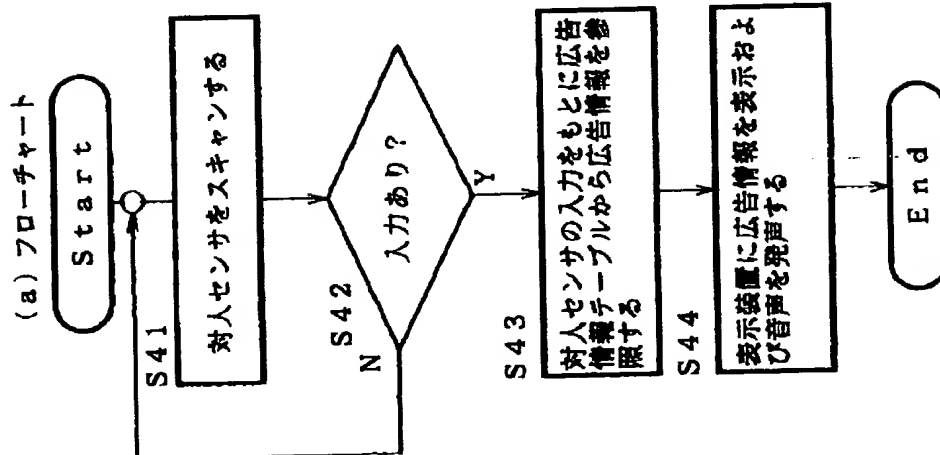


【図5】

(11)

特開平11-52901

本発明の動作説明図（その5）



(b) 広告情報テーブル例

4

対人数	広告情報	広告音声情報
範囲1	広告情報A	音声情報A
範囲2	広告情報B	音声情報B
範囲3	広告情報C	音声情報C

(c) 広告情報イメージ例

いらっしやいませ！

本日のおすすめは

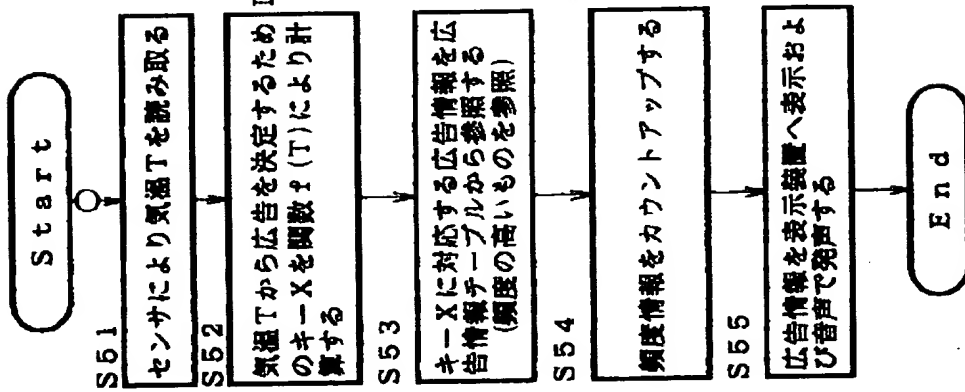
XXXXXX 特価 185円

広告音声情報

いらっしやいませ！

本発明の動作説明図 (その6)

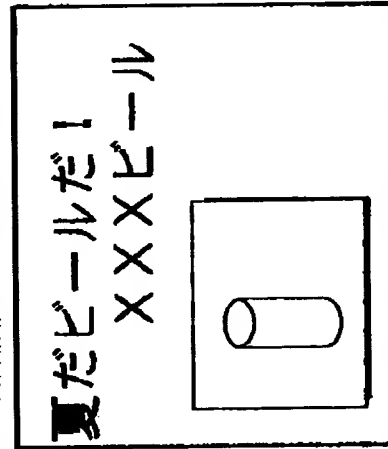
(a) フローチャート



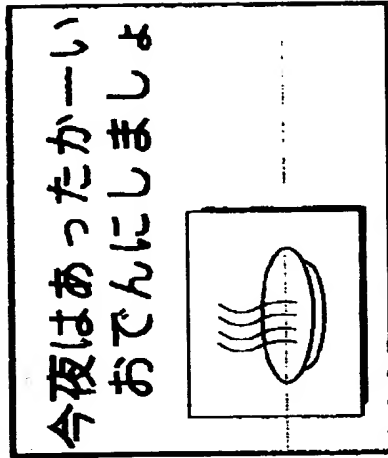
(b) 広告情報テーブル例

キー X	広告情報	頻度情報
0	広告情報 A	1
	広告情報 B	2
	広告情報 C	3
1	広告情報 C	1
	広告情報 D	2
	広告情報 E	3

(c) 広告情報イメージ例 (X=0)



(d) 広告情報イメージ例 (X=1)



【図7】

フロントページの続き

(72)発明者 池上 浩介
石川県河北郡宇ノ気町宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ピーエフユー内

(72)発明者 水野 恵介
石川県河北郡宇ノ気町宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ピーエフユー内